

# 学習課題(小学校4年生)

【算数】「※」は学習するときのヒントです。

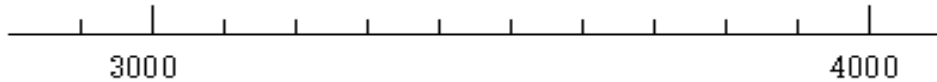
## <学習内容>

◆「がい数」(教科書 90 ページ～101 ページ)

教科書 90 ページでは、図かんに出ている数がありますね。

- (1) 4300 種類や 46 億年前のような、およその数のことをがい数といいます。どうしてがい数で表しているのかな？理由を考えてみよう。

- (2) 3915 人と 3361 人は約何千人と言っていいかな？数直線を使って考えてみよう。



3915 → 約 人  
3361 → 約 人



何の位の数字を見ればいいのか？

・約何千と表すには、百の位の数字が  
0、1、2、3、4 の時は約 3000  
5、6、7、8、9 の時は約 4000 とします。  
このようにがい数で表す方法を四捨五入といいます。

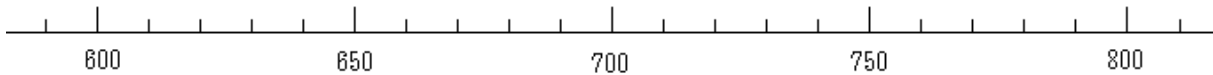
※表したい位の  
1つ下の位の  
数字に着目し  
て考えるとい  
いよ。

- (3) 次の数を四捨五入してがい数で表してみよう。

248465 (一万の位までのがい数)

36845 (上から 2 けたのがい数)

- (4) 四捨五入して約 700 になる数はいくつからいくつのはんいかな？



以上

未満

・数のはんいを表す言葉には次のようなものがあるよ。  
650 以上 … 650 と等しいかそれより大きい。  
750 以下 … 750 と等しいかそれより小さい。  
750 未満 … 750 よりも小さい。750 は入らない。

※750 は、約  
700 に入る  
かな？  
約 800 に入る  
かな？

(5) 下の3つの品物を買います。代金を見積もりましょう。



じゃがいも 197 円



にんじん 128 円



たまねぎ 173 円



およその代金はどんな計算で求めることができるかな？



$$197 + 128 + 173 = 498$$
$$498 \rightarrow \text{約 } 500$$

答え 約 500 円

$$197 \rightarrow 200 \quad 128 \rightarrow 100$$

$$173 \rightarrow 200$$

$$200 + 100 + 200 = 500$$

答え 約 500 円



2人はそれぞれどんな見積もりをしているのかな？説明しよう。

(6) さらにこんな考え方もあるよ。どんな考えをしているのかな？

$$197 \rightarrow 200 \quad 128 \rightarrow 130$$

$$173 \rightarrow 180$$

$$200 + 130 + 180 = 510$$

答え 約 510 円



$$197 \rightarrow 190 \quad 128 \rightarrow 120$$

$$173 \rightarrow 170$$

$$190 + 120 + 170 = 480$$

答え 約 480 円

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆がい数（教科書 P90～101）

- ・身の回りにある数は、概数で表している場合が多いことに関連付けて、概数で表すよさについて考える機会とできます。お子さんと一緒に、日常生活の中から概数で表されている場面を見付け、話題にしてみるのもいいのではと思います。
- ・代金を見積もりの場面は、途中で四捨五入、最後にまとめて四捨五入、切り上げ、切り捨てそれぞれの考えのよさについて触れ、目的に合わせて買い物場面で活用できるとよいことを実感させたい場面です。